

7. 試合時間

- ① 試合時間は前・後半とも15分間とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(選手の負傷等で試合時間が空費された場合、主審の判断で時間を延長し、アディショナルタイムを表示する)
- ② 必要に応じて、前・後半中程に飲水タイムを採用する。尚、その間は試合時間の計測をランニングタイムする。
- ③ 2日目決勝のみ、前後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

8. 順位の決定

- ① 1日目：勝点制(勝：3、引分：1、負：0)とし、同点の場合は得失点差、総得点、直接対決の結果の順位で決定する。全てが同じ場合は、抽選により順位を決定する。
- ② 2日目：かいつぶり杯、さざなみ杯の決勝以外で同点の場合は、PK方式とする。

9. PK方式(以下PK戦)について

- ① 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、PK戦により勝者となるチームを決定する。PK戦は3人で行い、勝敗が決まらない場合は、4人目以降は一人ずつ行い決定するまで実施する。
- ② PK戦の進行中に、GKが負傷してGKとしてのプレーが続けられなくなったとき、エントリーされている交代要員と交代することができる。
- ③ 上記②の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールド内にいた競技者にのみペナルティーマークからのキックを行う資格が与えられる。
- ④ 上記③の資格のある競技者は、PK戦の進行中に、主審の許可を得てGKと入れ替わることができる。
- ⑤ 試合が終了したとき、フィールド内で一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームはPK戦を行う前に相手チームの競技者数と等しくなるように自チームの競技者数を減らさなければならない。主将またはベンチのチーム役員は、除外する競技者の氏名と選手番号を主審に通知しなければならない。これによって除外された競技者は、PK戦に参加することはできない。

10. 警告・退場

- ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間、試合を停止する。
- ② 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。

11. その他

- ① 規定のない事項については、大会本部役員が協議し最終的に決定する。